



## 今日のトピック 今年のマーケットを振り返る6 資産クラス 商品がトップも円ベースではほぼ全資産が値上がり

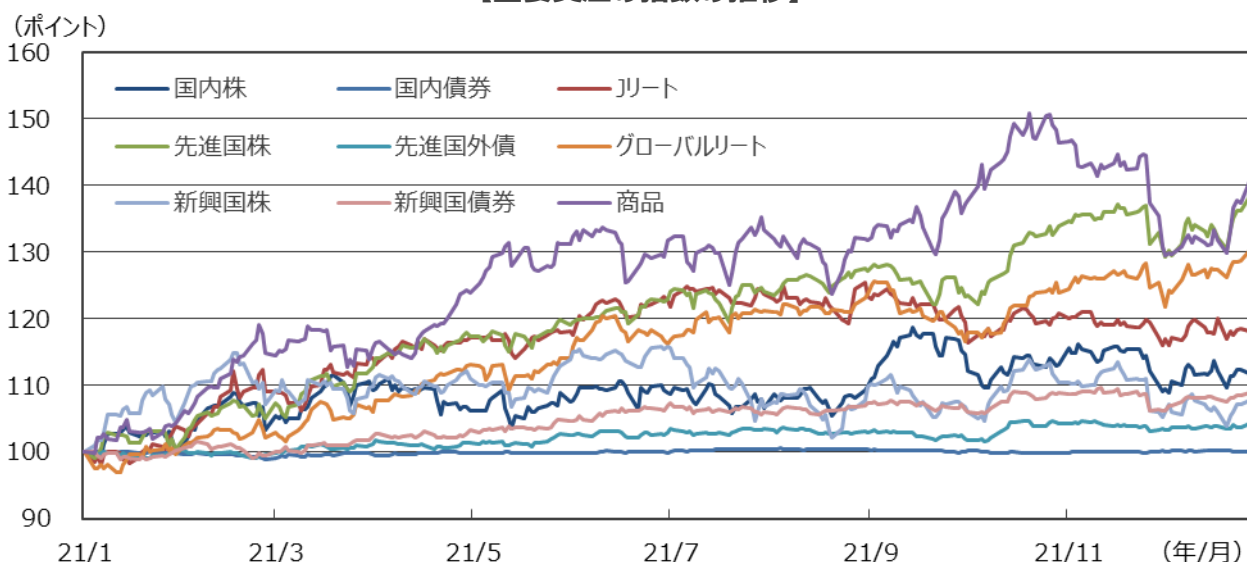
### ポイント1 2021年のアセットクラスは商品がトップパーformer

- 2021年の世界の資産市場では、円ベースで商品が資産クラス別騰落率のトップとなりました。経済再開の本格化に伴う世界的な資源高を受け、エネルギーを中心に上昇しました。

### ポイント2 株、リートも先進国中心に好調

- 先進国の株式やリートも米国を中心に良好なパフォーマンスとなりました。株式は、米国など主要国の企業業績が期を通じて上振れるなど、堅調な業績が相場上昇のけん引役となりました。債券はインフレ率の上昇を受け、総じて冴えませんでした。
- 円ベースではほぼすべての資産が年間を通じてプラス圏を維持しており、総じて良好な投資環境となりました。

【主要資産の指数の推移】



(注) データは2021年1月1日から2021年12月28日。2020年末を100として指数化。すべて円ベース・トータルリターン。

国内株はTOPIX、国内債券は野村BPI総合、リートは東証リート指数、先進国株はMSCIコクサイ、先進国外債はFTSE世界国債指数除く日本、グローバルリートはS&Pグローバルリート指数除く日本、新興国株はMSCI新興国、新興国債券はJPモルガンEMBIグローバルダイバーシファイド、商品はブルームバーグ商品指数。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも  
チェック!

2021年12月15日 今年のマーケットを振り返る3 日本株式市場  
2021年12月10日 今年のマーケットを振り返る1 リート市場

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。